

# 17. 宇部市地域公共交通再編実施計画

- 利用者の多い区間を「主要幹線」とし、系統の整理統合と等間隔運行の実現で利便性を向上
- 大小2つの市街地循環線につき、ルート・運行回数の見直し

## 【主な事業内容】

### ◆「主要幹線」の設定による利便性向上

- ・利用者の多い区間を「主要幹線」に設定し、**系統の整理・統合**を行って全体をスリム化
- ・ニーズに応じた運行頻度に見直すとともに、**運行時間を等間隔化**



(対象)西部:3路線、中央部:2路線、東部:2路線

### 【効果】

- ・19系統の削減(97→78)
- ・年間走行キロが15.9万km削減。
- ⇒運行経費**4500万円削減**、収支率**4.1%改善**
- ・高頻度かつ等間隔の運行を実現することで、**利便性を確保・向上**

### ◆市街地循環線の見直し

#### 【小循環線】

(中心市街地～宇部新川駅)  
実験結果を踏まえたルート見直しと運行回数増により利便性を向上

- ・1日6回
- (時計回り・反時計回り)
- ・130～320円 ※対距離制

- ..... 新ルートで廃止する部分
- ..... 新ルートで新設する部分

#### 【大循環線】

(宇部新川駅～空港・大学等)  
小循環線との役割分担を見直し、アクセスの利便性を向上

- ・1日10回
- ・130～620円 ※対距離制

- ..... 新ルートで廃止する部分
- ..... 新ルートで新設する部分

### 【効果】

- ・市民、訪問者それぞれのニーズが高い施設へのアクセスが向上
- ・2つの循環線で年間**200万円**の増収を見込む

